

学習成果を把握（測定）する方法

	時期	方法	学習成果・学位授与方針との関連
法学部 (政治学科)	初年次教育	政治学入門Ⅰ・Ⅱを必修科目とし、政治学入門演習を推奨科目としている。政治学入門Ⅰ・Ⅱについては、アンケート調査を行っている。 ほかに初年次向け科目として政治学入門演習(8クラス)を提供している。これについては夏期休暇中に課題レポートを課し、添削を行うことによって、文献の読解力と文章の作成力とを診断している。その結果については、各クラス担当者と共有されている。	必修科目については4年次までに単位を修得できなければ、卒業できない。
	基礎教育段階	学生の関心の多様性に対応した幅広い基礎科目を提供している。	卒業までに44単位以上を習得する必要がある。
	専門教育段階	学科会議で、各開設科目の受講者数にかんする情報にもとづいて、学生の政治学への関心の有り様を検討するとともに、専任教員の担当科目の成績分布にかんする情報を共有することで、学生の理解度を判断している。 二・三年次学生に対しては専門演習を提供しており、各教員が、対面的指導を通じて、個々の学生の関心や適性を把握し、その能力開発を促進すべく務めている。 また、東京都千代田区、北海道夕張市において課題解決型のフィールドワークを実施し、学生自ら、テーマの設定、データ収集、インタビューを通じて、座学で得た知識の応用、政策提言を行っている。担当教員は、受講者との集団生活・行動のなかで、彼らの学習能力・成果を測定し、その測定結果は、フィールドワークの最後に行われる「振り返り」のなかで、学生に伝えている。	自ら問題を発見し、対応策を考える自学自習の精神を習得させる。
	卒業時	卒業時まで ILAC 科目 44 単位以上、専門単位 88 単位以上を取得する必要がある。	左の要件を充たすことで、学位が授与される。